



南条っ子

南条小学校だより

教育目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条っ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

令和5年2月8日発

第47号



〇 ふるさとの日(2月7日) 福井県の誕生日

明治14(1881)年、福井県が設置されました。今年で、誕生して142年になります。

福井県は、昔、越前国と若狭国と呼ばれていました。

江戸時代には幕府の直轄地(天領)と各藩の領地に分かれていましたが、1867年に江戸幕府が滅び、明治4(1871)年に廃藩置県が行われました。

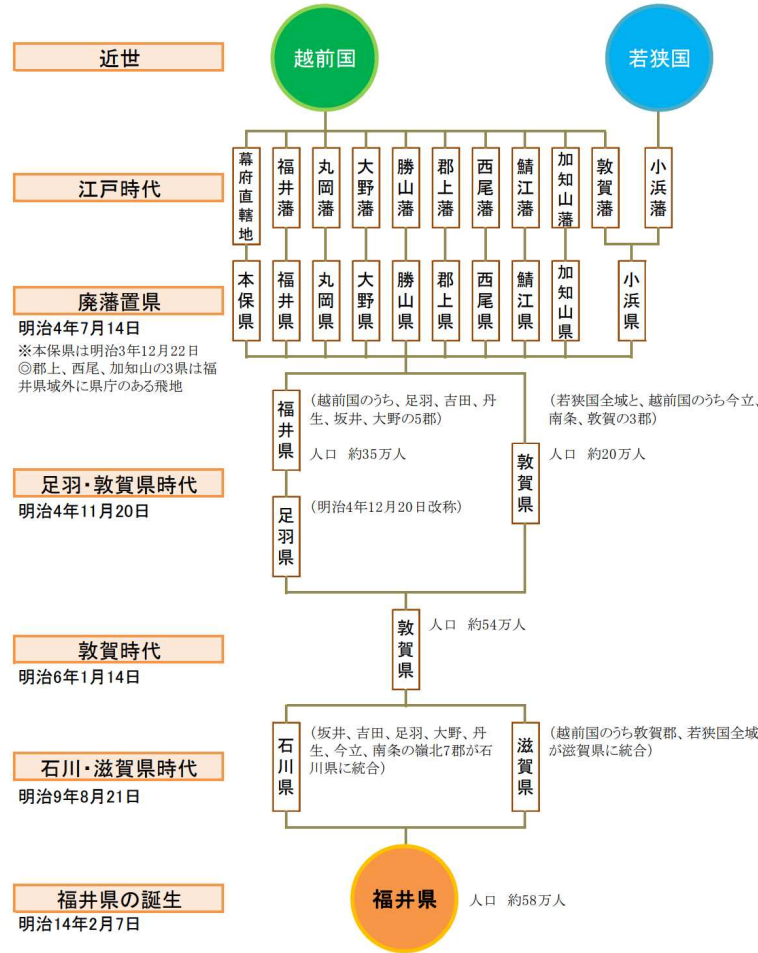
その後福井県(のちに足羽県)と敦賀県が誕生し(南条郡は、敦賀県)、明治6(1873)年には、それらが統合され敦賀県が誕生しました。

しかし、敦賀県は、明治9(1876)年に石川県と滋賀県に統合され、無くなってしまいました。(南条郡は、石川県でした。)

明治14(1881)年2月7日に、石川県から坂井・吉田・足羽・大野・丹生・今立・南条郡が、滋賀県から敦賀・三方・遠敷・大飯郡が分離され、福井県が誕生しました。福井県が誕生した時の人口は、約58万人でした。

現在の人口は75万2976人(2022年10月1日、全国43位)で、人口が一番多かった、2000年8月の83万2511人をピークに減少し続けています。

福井県では2月7日を「ふるさとの日」と定め、県民一人一人が自らの郷土についての理解と関心を深め、より豊かな郷土を築き上げることを期する日とし、毎年ふるさとの日を中心に関連行事を開催しています。本校の給食では、油揚げご飯と羽二重餅が出ました。



南条小学校の誕生日は・・・5月1日

昭和37年(1962年)、1月19日の臨時村議会で、3つの学校(国華小学校、北柚山小学校、柚山小学校)を1つにし、名前を南条村立南条小学校にすることが決定されました。

南条小学校は、昭和37年(1962年)の5月1日に18学級735名で始まりましたが、新校舎ができるまでは、旧小学校をそのまま使っていました。新校舎の本館が完成したのは、昭和38年(1963年)11月25日のことで、昭和39年(1964年)4月1日から新校舎に移り、17学級632名での授業が開始されました。(住所は南条村東大道23-12、電話番号は南条局26) また、校章は6月から村民に募集し、7月に、当時の保護者であった東大道の加藤さんの作品が選ばれました。(学校だよりの左上の校章です。)

加藤さんの話

中央に南条小学校の頭文字である『南』を配し、その周囲を水仙の花弁(花びら)6枚で囲んだ図案です。水仙は、冬の厳しい寒さにも耐えて咲く福井県の県花であります。忍耐強く、気力と精神力に富んだ南条小学校の子どもたちの元気はつらつとした姿をイメージしたものです。

同年(1964年)9月1日に南条村が南条町になり、南条町立南条小学校になりました。

また、校歌は、昭和40年(1965年)3月にできました。(作詞:則武三雄さん、作曲:望月敬明さん)

現在の校舎は、平成15年(2003年)4月に体育館、7月に本館の建築が始まり、平成16年(2004年)12月28日に完成落成式が行われました。また、平成18年(2006年)1月1日には、町村合併により南越前町立南条小学校となりました。

本校は、令和4年(2022年)5月1日に創立61周年を迎えています。なお、令和3年度(2021年度)までに、4567名が卒業しています。



左下の場所(校舎の西側)には工場がありました。

〇 赤い羽根共同募金贈呈

2月6日(月)、南条っ子委員が募金活動を行って集めた27,511円を、南越前町社会福祉協議会の会長に渡しました。昨年9月に行った豪雨災害に対する募金(見舞金)に続き、たくさんの善意をありがとうございました。また、南条っ子委員会のみなさん、募金活動、お疲れ様でした。

